

TRACK BACK

From Reader's Voice

このコーナーではブログやメールを中心としてインターネット上に掲載されている皆様のご意見を掲載しております。本誌に関するご意見や感想、またインターネットに対する疑問、質問、あなたの考え方など皆様の発する情報に誌面で「トラックバック」を行っていきたいと思います。メールでのご意見ご感想もお待ちしております。

im-info@impress.co.jp

ネットと書店とスタジアム

<http://www.hirsah.net/>

- *
- *
- *

今日もいつもの通り、昼休みに本屋に行った。手に入れたのはインターネットマガジン。自分はおそらく1994年からインターネットを利用しているが、その当時から続いている老舗の雑誌だ。

2～3年ほど前までは、あまり面白くなかったが、最近面白い記事が増えてきているように感じる。

今月のテーマはブログの進化についてであったが、それとは別にGooglezonについて書いてあった。

Googlezonは昨年の11月に登場したそうだが、今日初めて見た。

今となってはとても衝撃的とは言わないけれども、実現可能な事実である。

ブログがこれだけ普及して、誰もが記事を書

くようになると、何がマスメディアなのかだんだんとわからなくなって行くような気がしないでもない。現在のマスメディアは何と言っても体制寄り+広告主寄りなのは誰の目にも明らかである。

メディアの王は、テレビには変わらないであろうが、ジャーナリズムというものが徐々に市民寄りになって行くのではないかと

放送局に勤めるものとしては、この流れには逆えず、どうやってこの支流に掴まられるかと考えざるを得ない。

デジタルリスト Blog

<http://auc.gggt.net/>

- *
- *
- *

今月のインターネットマガジンの特集は「ブログ大特集」。最初は単なるリンク集めや日記帳としてしか使われていなかったブログは、いまではコミュニケーションツールとし

て・ビジネスツールとして活用されている。ブログの発展とこれからの将来を考える特集。

インターネット界の著名人などにインタビューしたり、実際の企業でビジネス管理ツールとしてMovableTypeを使っている現場を紹介したり、結構熱心に研究してある一冊だと思う。一般のポータルサイトが提供しているブログはカスタマイズの限界があるので難しいけれど、MovableTypeなどのサーバーインストール型のブログツールは実際の企業で使われている例も多い。僕も興味あるのはこの部分。

RSSを活用したり、Pingで互いに結ばれたり、SQL等のデータベースでデータを管理したりするという点で見るとブログというのはまだまだ機能を拡張する余地がたくさんある。今後はこのブログに備わったこれらの機能をうまく使うことがインターネットをうまく使うコツにつながってゆくかもしれない。

編集部より

今月号の特集「Web 2.0」はいかがだったでしょうか。読者の中にも、「とても興味津々」という方から「またウサンクサイものが出てきた」「何それ?」という方まで、さまざまかと思えます。

編集部でも、最初は特集として扱うのは難しいのではないかという意見もありました。いろいろな解釈があり、あまりにも曖昧で、国内でもそれほど認知はされていない状態だったからです。果たして記事として構成できるのか、また、読者に有益な情報として伝えることができるのかと検討していました。ところが、この数か月で急に議論が交わされるようになり、取り巻く状況が大きく変わってきたとい

う印象を受けました。そのきっかけは、10月に米国で行われたWeb 2.0会議と、直前にオライリー自身が公開した論文「What Is Web 2.0」でしょう。

今回、その論文の日本語訳とオライリー氏のインタビューを掲載できたことは、編集部として非常にうれしく思っています。日本語訳の掲載を快く承諾していただいたオライリー氏とオライリー・ジャパン様、そして翻訳元のCNET Japan様には感謝しています。

これからもさらに議論が続けられるであろうWeb 2.0。まずはその第一弾として、今月号を読んで考えていただければ幸いです。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp